テレビ静岡は、番組の適正化を図るための審議機関「番組審議会」を設けています。
このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。
現在、テレビ静岡では県内在住の８名の方に審議委員をお願いしていて、毎月１回（２月、８月は休会）番組について、ご意見をうかがい、番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡　２０２６年５月度　番組審議会概要

― 開催日時 ―

5月１４日（木）１４時～

― 出席委員 ―

高木 正和 委員長　戸﨑 文葉 副委員長　上柳 正仁　志田 倫子
大木 由美子　大森 準　河原崎 幸之介　　※田村委員は欠席

― 議　　題 ―

番 組 名　　東日本大震災１５年　静岡に映す教訓
～それぞれの選択、その先に～

放送日時　　２０２６年3月7日（土）午後3時３０分

制作著作　　テレビ静岡



― 番組内容 ―

忘れることのできない「３・11」以降、社会のあらゆる面で地震や津波対策が進められてきたが、新しい課題が浮き彫りになっている。
津波避難タワーや防潮堤、安全審査が進む中で不正が発覚した浜岡原発、そして福島から下田に移り住んだ家族たちを通して、15 年のあゆみを見つめた。

― 審議概要 ―

◎15 年の時の流れをあらためて感じた。これまでの番組は命の守り方が中心だったが、今回はスケールが大きく、良い問題提起だった。

◎ローカルテレビ局が放送する意義がある番組。様々な観点や立場からの取材がよかった。

◎浜岡原発や高台移転など、過去の映像を上手に使って経緯や現実の厳しさを伝えたのはテレビならではで素晴らしかった。

◎浜岡原発のデータ不正は突っ込みが足りなかった。発覚から間がないが、市民が何をどう騙されたのか、掘り下げてほしかった。

◎結局どうすればいいかが見えにくかった。決意するだけでいいのか、何を議論すればいいのか、自分が番組を作るつもりで考えたが難しかった。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りに活かしてまいります。

次回の番組審議会は 2026年6月11日（木）の予定です。